

青少年のころ**体験活動**にどれくらい**参加**していましたか？  
大人になってから、どんな**人生**を過ごしていますか？

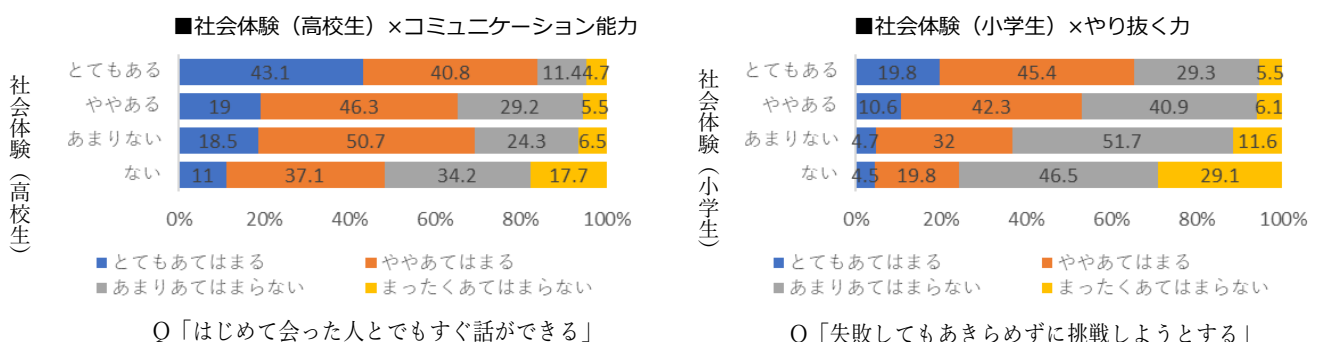
## 青少年期の「社会体験」は社会性が高く社会参加に意欲的な人を育てる！ 平成29年度「青少年期の体験活動・社会活動に関する実態調査」結果レポート

青少年期に経験したさまざまな「体験」が、その後の人生に大きな影響を与えることは、これまでの研究から明らかにされています。今回の調査では、地域での活動や異年齢との交流などの「社会体験」が、大人になってからの人生にどのような影響を与えるのか、社会性の獲得や社会参加の度合いという視点から調査しました。

### 調査結果のポイント

- ポイント① 青少年期の社会体験が豊富な大人ほど、自尊感情や共感性、コミュニケーション能力が高く、失敗してもあきらめずに挑戦しようとする意欲が高い。
- ポイント② 青少年期に家族以外の地域の大人や異年齢の子どもと関わる機会が多い人ほど、地域や社会への関心が高く、社会参加や地域貢献活動に対しても積極的である。
- ポイント③ 子ども会など青少年団体に加入していた大人は、そうでない人に比べて社会性が高く、社会的課題への関心や社会参加に対して積極的な傾向がある。
- ポイント④ 青少年期に地域の大人や異年齢の子どもと活動する社会体験・自然体験・生活体験をした機会は若い年代の方が少ない。社会体験の機会は小学生の頃が最も多く、中学生、高校生と年齢が上がるにつれ機会が減っている。

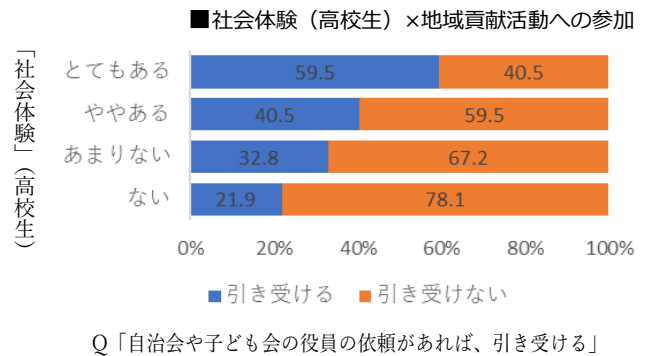
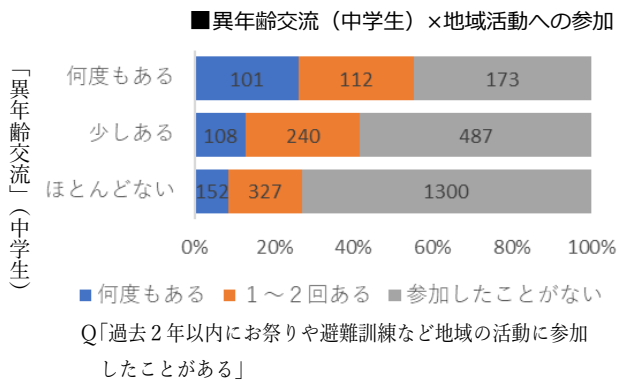
## 1. 青少年期の社会体験が豊富な大人ほど、自尊感情や共感性、コミュニケーション能力が高く、失敗してもあきらめずに挑戦しようとする意欲が高い。



●青少年期に家族以外の地域の大人や異年齢の子どもとの交流など社会体験の機会が多い人ほど、「はじめてあった人とでもすぐ話ができる」コミュニケーション能力や「新しいことに挑戦する意欲」が高く、大人になってからも「地域活動」や「ボランティア活動」など社会参加活動に積極的です。

●特に、小学生の頃の社会体験の機会が多い人ほど大人になってからの社会性や社会参加意欲が高く、「失敗してもあきらめずに挑戦しようとする」やり抜く力や共感性が高い傾向があります。

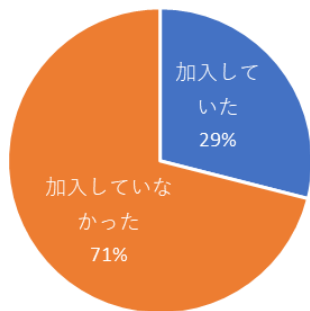
## 2. 青少年期に家族以外の地域の大人や異年齢の子どもと関わる機会が多い人ほど、地域や社会への関心が高く、社会参加や地域貢献活動に対しても積極的である。



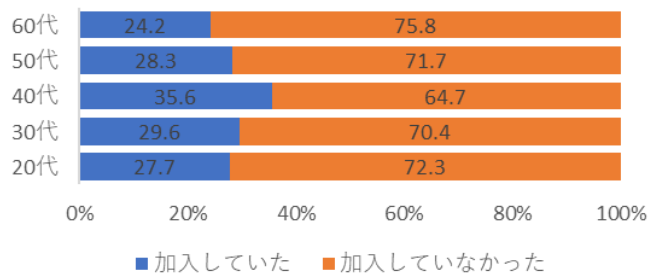
- 青少年期に年齢の異なる子どもと一緒に遊んだり、活動した機会が多い人ほど、地域活動への参加に対して積極的で、「社会的課題への関心」や「社会貢献意識」が高い傾向があります。特に、高校生の頃の社会体験が豊富な人ほど、自治会や子ども会の役員の依頼があれば「引き受ける」と回答する人が多く、地域の大人や異年齢の子どもと交流する社会体験は、成人後の社会活動への参加意欲や社会貢献意識を育む機会になっていると考えられます。

## 3. 子ども会など青少年団体に加入していた大人は、そうでない人に比べて社会への関心が高く、地域貢献や社会貢献する活動に対して積極的である。

■小学生、中学生、高校生年代のときに子ども会、スポーツ少年団などの青少年団体に加入していましたか

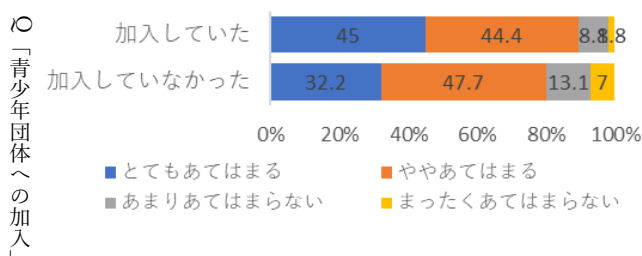


■年代×青少年団体への加入



- 20代～60代で子ども会、スポーツ少年団など青少年団体に加入していた人の割合は約30%で、年代による大きな差は見られませんでした。年代別では40代の加入率が最も高く、4割弱が「加入していた」と回答しています。

■青少年団体への加入×社会的関心

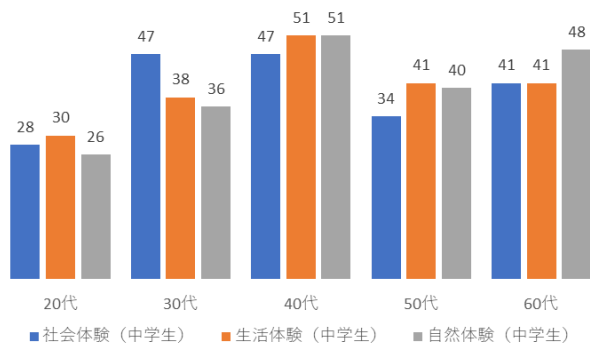


- 青少年期に子ども会やスポーツ少年団など青少年団体に加入していたことがある人は、そうでない人に比べて新聞やインターネットによく目を通すなど社会への関心が高く、加入していた人の4割弱が「自治会や子ども会の役員の依頼があれば、引き受ける」と回答しています。

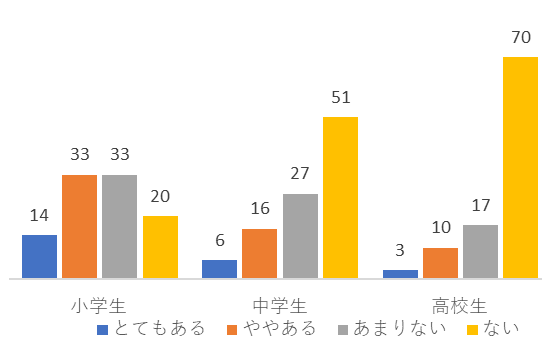
Q「新聞やインターネットのニュースには目を通して」

#### 4. 青少年期に地域の大人や異年齢の子どもと活動する社会体験や自然体験・生活体験をした機会は若い年代の方が少ない。社会体験の機会は小学生の頃が最も多く、中学生、高校生と年齢が上がるにつれ体験の機会が減っている。

■【年代別】中学生の時の社会体験・生活体験・自然体験の頻度を「とてもある」「よくある」と回答した人の割合（%）



■小学生・中学生・高校生の時の社会体験の頻度を「とてもある」「よくある」「あまりない」「ない」と回答した人の割合（%）



●青少年期の自然体験・生活体験の機会が「とてもある」・「よくある」と回答した人の割合は40代～60代の方が20代・30代よりも多いです。一方、社会体験の機会が「とてもある」・「よくある」と回答した人の割合は、50代・60代に比べて30代・40代の方が高く、いずれの体験の機会においても「とてもある」・「よくある」と回答した人の割合が最も高いのは40代であり、最も低いのは20代でした。

●若い年代では体験活動の機会が全般的に減っています。社会体験の機会が「とてもある」・「ややある」と回答した割合は「小学生」の頃が最も高く、「中学生」、「高校生」と年齢が上がるごとに機会が減っている。また、「高校生」の70%が社会体験の機会が「ない」と回答しています。

### ま と め

●子どもの頃の体験が豊富な大人ほど意欲的で社会性の高い人が多いことは、これまでの全国調査等で明らかになっていました。今回の調査を通じて、自然体験や生活体験に加えて、地域活動への参加や異年齢との交流、ボランティア活動などの社会活動が、大人になってからの社会性や社会参加の意欲に大きな影響を与えることが分かりました。

●その一方で、青少年期の社会活動の機会は若い世代ほど減少しており、青少年が身近な地域での体験を通して自ら学び、育つ機会は少なくなっています。特に、小学生、中学生、高校生と年齢があがるにつれ体験の機会は減少していることが分かりました。体験の機会が減少している要因については、さらなる調査が必要です。

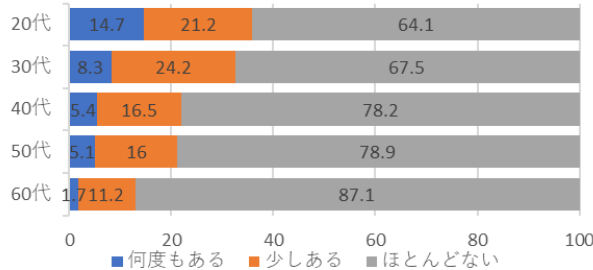
●青少年団体に加入していた人ほど、社会に対する関心や社会貢献意識が高いことが分かりました。しかし、青少年団体への加入率は全国的に減少しており、団体活動を通して青少年が社会活動に参加する機会も減りつつあります。既存の社会資源である青少年団体と協力した体験活動の推進が求められています。

●ひとりひとりが前向きに人生を歩み、世代を越えてさまざまな人が交流し、助け合える地域社会を実現するためには、青少年期に豊かな体験の中で育つ地域づくりが求められています。

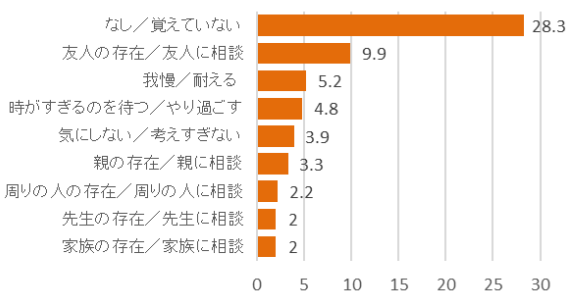
# トピック

青少年期に「負の体験」をしたことがある人は若い世代ほど多く、20代の15%は中学生の時に「病気以外の理由で学校に行けなかったこと」が「とてもある」と回答している。

■【年代別】中学生の時の「病気以外の理由で学校に行けなかったこと」の頻度 (%)



■こうした体験を乗り越えるにあたって、どのような体験が役に立ちましたか【自由回答】 (%)



今回の調査では、青少年期の「負の体験」についても調査を行いました。

中学生の時に「病気以外の理由で学校に行けなかったこと」が「何度もある」と回答した人は 20 代の 15%に上り、負の体験全体でも若い世代ほど多くなっています。また、中学生の時に「からかひや無視など人間関係でいやな思いをしたこと」は、20 代のおよそ 3 割、30 代の 2 割以上が「何度もある」と回答しています。

また、こうした体験の乗り越えるにあたって役に立ったことの具体的な回答として最も多かったのは「友人の存在／友人の相談」で全体の 1 割弱でした。親や家族、先生の存在／相談はそれぞれ 2~3%で、青少年が負の体験を乗り越えるにあたって友人の存在や相談／助言が支えになっていることが分かりました。

## 実施概要

調査名	青少年期の体験活動・社会活動に関する実態調査						
対象者	横浜市内在住の 20 歳代~60 歳代の男女個人						
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・属性（年齢、性別、居住地、居住年数、世帯人数、世帯主との関係、職業、最終学歴）</li> <li>・成人後の「体験の力」獲得の度合い</li> <li>・成人後の社会参加の度合い</li> <li>・青少年期（小学生・中学生・高校生）の体験活動への参加頻度</li> <li>・青少年期（小学生・中学生・高校生）の負の体験の頻度</li> <li>・青少年期（小学生・中学生・高校生）の社会的活動への参加頻度</li> </ul>						
サンプル数	3000s						
割付	性別	20代	30代	40代	50代	60代	※なお、性・年齢別人口と区の人口を用いて、サンプルの偏りを補正した集計を行っている。
	男性	120	327	327	328	327	
	女性	260	328	327	328	328	
調査期間	平成 29 年 8 月 16 日~9 月 8 日						
実施方法	インターネットによる調査						
実施団体	公益財団法人よこはまユース						
調査監修	土屋 隆裕氏（横浜市立大学）、青砥 恭氏（NPO 法人さいたまサポートネット）						